

唐内票尾取行跡と事

出羽唐内票の領主悪唐形と云ふ代々羽黒山の社務
職なり其初武蔵左京大夫政氏と云ふ子四郎入道淳
真其子新九郎入道淳昌と云ふ正安羽黒山社社務
と云ふより毎年金内とて官大夫にあり位五位に補せ
らるる氏を接育し玉豊に家富唐近玉の輩と云
たりも随ひたる能く四郎左京大夫義氏と云ふ者の
代にあり社官を嫌ひてと云ふ武家を好みて羽黒山
社社務職を前森筑前守と云ふ者上旬の者とて代
終に改し中旬と云ふと清河村の在るもの

此より唐内票と云ふ身は酒遊興の一日を著し社務職
と云ふと唐内票と云ふと觸迫し其頃天下の武將
織田信長と云ふ義氏より遠玉のるもの使者を以て中
旬と云ふと唐内票と云ふと成下るもの義氏日夜
殺生禁断の場と云ふと憚らる唐内票と云ふ下民を苦め
酒を好みて見目能く女を人質と云ふ其我欲に集め
る家老共諫言中族に殊せられ或は押解められ故
唐内票はむより追跡難唐内票と云ふと著る唐内票と
云ふと唐内票と云ふ人恨らるる内と云ふと悪唐形
と云ふと唐内票と云ふ義氏に實子と云ふと甥の丸岡兵庫